

JAPPAAAN

会員登録書 兼 誓約書

ボルダリング、スラックラインは危険をとまなうスポーツです。

色々なスポーツがある中、それぞれのスポーツにおいて本質的な危険が存在します。ボルダリングやスラックラインも例外ではありません。場合によっては死亡事故を含む重大な事故や怪我をするケースもあります。

そのような危険性を十分ご理解の上、施設ご利用をお願いいたします。

私(保護者)は、JAPPAAAN 室積店に入会するにあたり、次のことを了承いたします。

- ・決められた注意事項を守り、危険な行為をしないよう気を付けます。
- ・施設内および器具の使用時には管理者の注意に従います。
- ・第三者の起こした事故に巻き込まれたり、器具が壊れる可能性がある事を十分理解した上で利用します。
- ・安全対策を怠らず、もし事故が起きた場合は全て自己の責任において処理します。

※太枠内をすべてご記入ください。(保護者氏名は未成年の方に限ります。)

入会日 年 月 日	会員番号	ふりがな 氏名	年齢	性別
住所 〒			ふりがな 保護者氏名	
電話番号	緊急連絡先	E メールアドレス		

◎今後、JAPPAAAN 株式会社およびタレントとして所属する ORCA 株式会社が開催する体験会やイベント、教室などの案内を送らせていただきます。

◎いただいた個人情報は JAPPAAAN のジムやイベント関連以外には使用いたしません。

【ボルダリングエリアに関する注意事項】

★マットについて

- ボルダリングエリアには、安全確保の為にマットが敷いてありますが、落下時の体勢によっては怪我(足首捻挫、骨折等)をする場合があります。また、マットを飛び越えるような墜落をした場合は衝撃が吸収されません。さらに岩場での登壁の際にはクラッシュパッドのみで行うように、本来の危機管理はクライマー自身が行うという意識付けにも繋がります。このように、マットによって完全に安全確保ができていないという事ではないの確認の上、ご利用ください。

さらにJAPPAAANのマットは通常のボルダリングジムに設置されている柔らかいマットに比べ、硬めの構造となっています。柔らかすぎるマットの場合、着地の際に足がマットに取られ、怪我に繋がるケースが多い為、それを防ぐ意図があります。可能な限りクライムダウン(ホールドをつたい降りる)をして、着地に注意して下さい。

マットが柔らかくないので、頭部からの墜落が起きないように、スポットが重要になります。

※スポットとは・・・起こりうるリスクを最小限に留める行為です。

(極端な例だと死亡事故→骨折事故など)その為、ジム内では「頭部からの墜落を未然に防ぐ」「マットの範囲外に倒れ込まないようにする」等の動きが求められます。

- ・クライマー落下時、足から着地できる体勢になるよう、背中等を押してあげる
- ・抱きかかえる、受け止めるという事はしない。(スポットに入っている人も、一緒に倒れ込むリスク)
- ・踏ん張りが効く体勢で構え、クライマーの動きを読み、落下地点を予想してスポットに入る
- ・幼児は不意の動きなどが多いため、触れるか触れないかくらいで腰の辺りに両手を添える
- ・コンパネ 3 枚目辺りの高さからは落下時の危険度が増すため注意する

★クライミングエリアの安全管理

- クライミングエリア内の全ての人が、周囲の状況に常に気を配っていなければ、単独ではなく、他者を巻き込んだ事故(他人との接触等)も起こります。自分の行動によって自分、または他者の行動によって自分が怪我をしないように注意しましょう。各自が自己責任において身の安全を確保するようにしましょう。

★マットの上での安全管理

- マットの上では座ったり寝転んだりしないようにしてください。青いマット上は常にクライマー優先となります。クライマー落下時に下にいて事故になった場合、その責任は年齢、性別などに関係なく、下にいた人の責任となります。

★登壁中の注意

- ジム内の壁は木製となっており、壁最上部等のヘリ部分はトゲや釘が出ている所もありますので、不用意に掴まないようにしてください。
- お子様を押し上げて登らせたり、手足を引っ張ったりしないでください。
- 登る前に、先に登っている人の動きに注意して登ってください。近い場所で同時に登った場合、壁内で衝突するだけでなく、落下ポイントで接触事故になります。その場合、後から壁に取り付いた人の責任となりますので、お互いにコミュニケーションを取りながら登るようにしてください。
- 皆さんに使って頂けるチョークをご用意しておりますが、チョークは登る際に使用する大事な道具でもありますので、お子様などがチョークで遊ばないようお願いします。

★施設利用・設備について

- ルートなど、施設の事で分からない事がありましたら、遠慮なくスタッフに声をお掛けください。
- ホールドの緩み、回転等があった場合は直ちにスタッフにお知らせください。

以上、ジムでのルールとマナーに同意致します。

署名

スタッフサイン

【施設利用ルール・マナー】

- ◎ レンタルシューズご利用の際は、必ず靴下を着用してください。
- ◎ 小さなお子様の安全管理は、必ず保護者様が見るようにお願いいたします。
- ◎ アルコールを飲んでのご利用はお断りさせていただきます。
- ◎ 健康状態やご来店時の体調が良くない場合、直ちに施設のご利用の中断をお願いします。
- ◎ 怪我の疑いがある場合、必ずスタッフにお知らせください。
- ◎ 爪が伸びた状態で登ると危険をとまいません。来店時に気になった方は、受付にお申し出ください。
- ◎ 登りの妨げになるような装飾品は怪我の原因ともなりますので、はずした上でご利用ください。
- ◎ 店内展示の商品をご覧になりたい時は、チョークを落としてのご利用をお願いします。
- ◎ 貴重品、持ち物は自己管理をお願いいたします。施設備え付けのロッカーをご利用いただけますが、紛失、盗難などの責任は一切負いかねます。
- ◎ スタッフの注意、指示をご理解いただけない場合は、ジムからご退出していただく場合がございます。
- ◎ 施設内でスタッフが撮影したセッション風景やクラスでの様子などの写真を、WEB や SNS に使用させていただく場合があります。予めご了承ください。